

平成27年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	伊予地域漁業管理事業			
予算科目	6 款 3 項 3 目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 水産業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 583	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 角田 栄治	
事業の性格	内部管理事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	森漁港維持管理			
根拠法令等				
事業の目的	森漁港区域内の維持管理事務。			
事業の内容	森漁港の維持管理として、光熱水費、清掃管理委託料等の維持管理事務。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		26年度決算	27年度予算	9月末の執行状況	27年度決算
事業費	直接事業費	1,274	4,419	3,313	3,488
	人件費	795	563	241	563
	合計	0	4,982	3,554	4,051
人件費 内訳	人工数	0.10	0.07	0.03	0.07
	人件費単価	7,954	8,042	8,042	8,042
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	795	562	241	562
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,069	4,982	3,554	4,051

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	26年度実績	27年度予定	9月末の実績	27年度実績
伊予地域漁業管理費	%	91	90	75	81.3

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	5年間の実績
	17,843	2,000	2,000	2,000	2,000	25,843

成果指標				
成果指標	決算額÷予算額			
指標設定の考え方	予算額100%に対し、決算額の割合を減らすことでコスト縮減率を読み取れる。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	100	100	100	0
実績	91	81.3	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	森漁港においては、漁船以外の船舶係留許可区域を設け利用料を納入していただく予定であるが、漁港管理委託料も新たに発生することから、全体事業費は増加するものと思われる。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	森漁港は、平成29年度から区域を設定しプレジャーボートの利用料が必要となる可能性があることから、その場合は、利用者への周知徹底と協力依頼を、来年度適切に実施する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	一次評価者の課題認識に加え条例等整備として、「伊予市漁港管理条例及び伊予市漁港管理条例施行規則」の整備を行い漁港管理の適正化を早急に図る必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	下記の点を見直しの上、継続する。
意見、課題	二次評価の内容を踏まえ見直すこと。